

第二の故郷・日本を離れまいと考えた時

ヴァイオリニスト・音楽博士 劉 薇

東日本大地震で、日本の人々は想像に絶する被害と不安に陥っている。易説でいう卯年の辛さと切り開く時の意味をもう一度噛みしめて、粘りつよく頑張る。地震は天災、原発事故は人災である。この両方が日本を襲う。世界に先進技術を誇る日本は、この事態とどう向き合う？日本の将来が決まる。地球上のわずかの資源を大切に、一人一人徹底的に反省する時期が来ている。日本は世界に警鐘を鳴らす役目を果たせるのかどうか？懸念すべきである。

心は破裂しそうな悲しみを覚え、楽器を手に取ることもできず、唯々過す。中国に引き上げることを一度は考えたが、一社会人として、音楽家として、無責任なことにはできない。大勢の方々のいまこそみんなで頑張る気持ちが客席から聞こえて来るように感じる。いま、私は励まされ、ようやく楽器を弾くことができる。音楽は人に勇気を与える。国境を越えて精神的なケアは必ず芸術で癒すことを信じる。今年こそたくさん演奏し、立ちあがる日本の皆さまと共にクラシック音楽で励ましあいたい。

リュウ ウェイ

劉 薇と国境なき音楽の仲間による 震災チャリティーコンサート

PROGRAM

〈尺八ソロ〉

ばんしきしらべ

盤渉調 / 琴古流尺八古曲

〈尺八とヴァイオリン〉

風韻ニ / 助川敏弥

〈ギターソロ〉

アランフエンス / ロドリゴ

〈ギターとヴァイオリン〉

鳥の歌 / カタルニア民謡・カザルス編

アンダルシアロマンス / サラサーテ

〈2本のヴァイオリン〉

ノルウェイの旋律による / ハルヴォルセン

ダニー・ボーイ / アイルランド民謡

〈馬頭琴ソロ〉

スーホの白い馬 / チ・ボラグ

万馬のとどろき / チ・ボラグ

【休憩】

〈ヴァイオリンとピアノ〉

山歌 / 馬思聰

からたちの花 / 山田耕筰

タイスの瞑想曲 / マスネ

母が教えた歌 / ドヴォルジャーク

バラード / ポルムベスク

ツゴイネルワイゼン / サラサーテ

■ヴァイオリン 劉 薇

中国蘭州（シルクロード）出身。西安音楽学院ヴァイオリン科卒業、同音楽大学ヴァイオリン科教師を勤める。86年来日、99年博士学位論文『ヴァイオリニスト・作曲家としての馬思聰研究』で東京芸術大学より音楽博士号を授与される。日本各地、米国カーネギー・ホール、北京中央音楽院ホールで演奏を行う。日本音楽財団より1736年製名器アルネリ・デル・ジェスが貸与され、馬思聰ヴァイオリン作品CD3巻と名曲集1巻を発表。日中音楽文化交流の使者として国内外で演奏を重ねる。演奏活動と同時に、日本各地で講演（文革嵐の中での音楽経験）も多数行いさまざまなメディアで紹介される。NHKホール「オリンピックコンサート2008」で新日本フィルハーモニーと協演。ドレスデン国立歌劇場管弦楽団メンバー、アムステルダム・ロイヤルコンセルトヘボウメンバーとも協演。'07アイルランドコンサート、'08スペインコンサートツアーを行う。'09年浜離宮朝日ホールにてリサイタル開催、大成功を収める。5枚目のCD『日本の響き〜名ヴァイオリン作品集』発売。共立女子大学国際学部で講義「アジア論〜中国の芸術」を担当。'10年中国江南3都市コンサートツアー、'11年3月中国貴州省公演を行う。5月弦楽四重奏結成コンサート、12月サントリー小ホール「劉薇後援会設立10周年記念〜劉薇ヴァイオリンリサイタル」を行う予定。

■尺八 クリストファー・達盟

アメリカ生まれ、1972年来日。竹盟社宗家・人間国宝山口五郎師に師事。82年東京芸術大学大学院修了。国内および海外で演奏多数。また国際交流基金派遣・招待による各国の大学や教育機関で日本音楽の教授活動を行う。古典を継承する一方で尺八の可能性を探り他分野の芸術家たちとの共演も多い。CD「Navarasa」「浩々妙音」「breathplay」「神問答」。著書『サ・尺八〜演奏習得の手引き』（音楽の友社2005年）『尺八オデッセイ〜天の音色に魅せられて』（運如賞受賞、河出書房新社2000年）。ポルター国際尺八音楽フェスティバル98、ブラハ国際尺八フェスティバル実行委員。現在、国際文化会館芸術監督、テンブル大学講師。

■ギター 小川和隆

東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。第22回東京国際ギターコンクール第1位。ギターを小原聖子に師事。スペインにてナルシソ・イエベスに十弦ギターを学ぶ。国内各地のほか、マドリッド、ニューヨーク、リオ・デ・ジャネイロ、ローマ、長春などにて演奏。CD「太陽と月のささやき」「アスランの子守歌」「時の天使」「シチリアーナ〜エチュード集vol.1」「祈り〜エチュード集vol.2」をリリース。全音楽譜よりCD付楽譜集「ギターは素敵」と「決定版ギターエチュード集」を発売、好評を得ている。ソロのほか、尺八、語りとのユニット「きょうはいい日」の活動で、各地のコンサートやイベントなどに演奏の場を広げている。

■ヴァイオリン 山口直美

東京芸術大学付属高校を経て、同大学ヴァイオリン科を卒業。同大学院終了。スイス国際メニューイン・アカデミーに奨学金を得て留学。1987年メニューイン率いるカメラータ・リシー室内楽団と共に来日し、神戸、大阪、東京で共演する。1987年〜1989年、デュッセルドルフ交響楽団団員。1989年より東京都交響楽団団員。佐々木茂生、田中千香士、原田幸一郎、岡山潔、アルベルト・リシー、アンナ・チュマチェンコ、ローザ・ファイン各氏に師事。

■ピアノ 丸山 滋

東京芸術大学大学院修士課程修了。修了時にクロイツァー賞を受賞。植田克己氏に師事。92年よりドイツ学術交流会の政府奨学金留学生としてミュンヘン音楽大学マイスター課程に入学。ピアノをクラウス・シルデ、歌曲演奏法をヘルムート・ドイチュの各氏に師事。94年、ハンス・プフィツナー歌曲コンクールで歌曲伴奏特別賞受賞。同年、同大学を修了。その後、様々な国際経験を積み、95年に活動の場を日本に移し、ソロ活動の他、ソプラノ島島有美子、テノール吉田浩之、チェロ藤原真理ら、多くの一流演奏家たちと共演。97年、J.S.G.国際歌曲コンクールの優秀伴奏者賞受賞。東京芸術大学・室内楽科およびピアノ科非常勤講師。

■馬頭琴 チ・ブルグッド

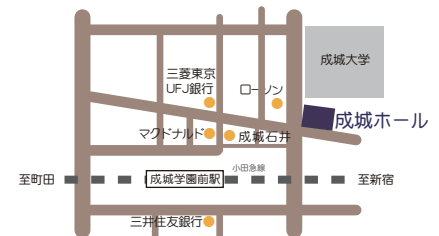
馬頭琴の世界的巨匠、チ・ボラグを父に持つ。テレビ朝日「蒼き狼」に子役として出演。内モンゴル芸術学院修了後、内モンゴル歌舞団入団。96年、馬頭琴で最も権威のある国際コンクールで銀賞受賞。2001年、東京芸術大学初の馬頭琴奏者として修士号取得。NHKスペシャル「フグダ・大いなる旅路」のテーマ曲、三宅一生パリコレでの演奏、平安遷都1200年祭で天皇皇后両陛下の御前演奏、滝田洋二郎監督「阿修羅城の瞳」のオープニングテーマ曲の演奏他、ヨーロッパ、アジアの音楽祭などにも出演。自身のバンドHEMELLも結成し、民族音楽の枠にとどまらない世界的視野に立った活動で注目される馬頭琴の新世代プレーヤー。

【ACCESS】

成城ホール

東京都世田谷区成城6-2-1
TEL 03-3482-1313

小田急線「成城学園前」駅
北口より徒歩約4分
※地下一階に公共有料駐車場あり



劉薇と国境なき音楽の仲間による震災チャリティーコンサート(FAXによるお申込み)

フリガナ

お名前

E-MAIL

@

ご住所 〒

¥ 3,500 × 枚

TEL

()

FAX

()

エム・バイ・ミュージック FAX 03-3789-6518 必要事項をご記入の上、左記までご送信ください。